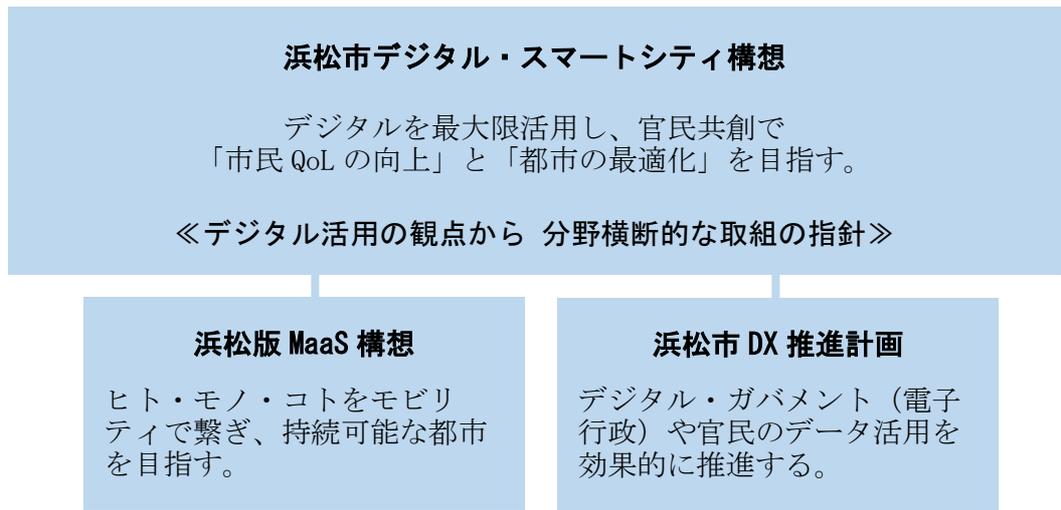


浜松市デジタル・スマートシティ構想、浜松版 MaaS 構想 及び浜松市 DX 推進計画の改定について

1 報告趣旨

- 「浜松市デジタル・スマートシティ構想」、「浜松版 MaaS 構想」及び「浜松市 DX 推進計画」が、2024 年度をもって期間満了となることから改定するもの。
- なお、いずれも、目指す方向性、基本的考え方、推進体制等については、現行の内容を大筋で踏襲するものであるため、パブリック・コメントは実施しない。
- 今後は、「浜松市デジタル・スマートシティフェロー」等有識者からの意見等を踏まえ改定していく。



【第 2 期：2025～2029 年度】

2 浜松市デジタル・スマートシティ構想

(1) 第 1 期の主な成果

- デジタル・スマートシティ推進の基盤となる「浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例」及び「浜松市 DX 推進計画」の制定・策定。
- スマートシティ実現に向けた官民連携の推進体制である「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」の設立及び会員拡大。(2024. 5. 15 現在 224 団体)

(2) 改定方針

目指す方向性 (基本理念)	「市民 QoL (生活の質) の向上」 「都市の最適化」		「Well-being の向上」 「都市の最適化」
重点取組分野	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗効果を期待し、個々の取組の分野横断的・有機的連携を図る。 ※分野：産業、教育・子育て、エネルギー・循環型社会 等 16 項目 ・教育・研究機関との連携や文化を生かし若者の社会参加を推進する。 		

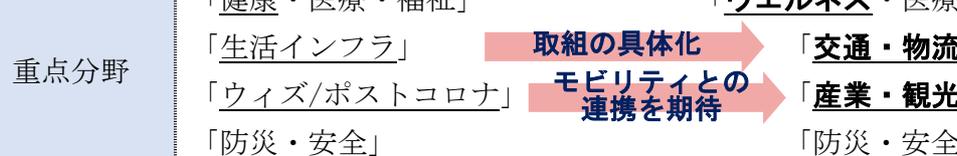
3 浜松版 MaaS 構想

(1) 第1期の主な成果

- 構想推進のための官民連携組織「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」の設立及び会員拡大。(2024. 5. 1 現在 124 団体)
- ドローン利活用に関する報告書の取りまとめ、及びドローン利活用推進部会の設置。
- 春野医療 MaaS の実証実験、及び地域支援看護師を活用したオンライン診療の実装。
- モデル地区(庄内)における共助型交通の導入。

(2) 改定方針

重点分野	「健康・医療・福祉」	「ウェルネス・医療・福祉」
	「生活インフラ」	「交通・物流」
基盤づくり	「ウィズ/ポストコロナ」	「産業・観光」
	「防災・安全」	「防災・安全」



【エコシステム構築】 ※「市民」「企業・大学等」「行政」の連携
経済循環・マネタイズや圏域を超えた連携を意識する。

【データ利活用】
新しい取り組みの方向性を決める際の判断材料とすることや
取り組みの評価に活用するなど利用目的を明確にする。

4 浜松市 DX 推進計画

(1) 第1期の主な成果

- マイナンバーカードの交付率が8割を超え、デジタル社会の基盤としての環境整備が整った。
- 行政手続きオンライン化の進展、書かない窓口の導入、コンビニ交付の利用率向上等が達成され、住民接点の多様化や市民サービス向上を実現した。

(2) 改定方針

取組事項の体系	「デジタル活用による市民サービスの向上」	「デジタル活用による市民サービスの向上」
	「自治体の生産性向上」	「自治体の生産性向上」
取組項目		「職員のエンゲージメント向上 (貢献意欲・働きがい)」
	KPI 達成状況や3か年の総括等、また国等の動向を踏まえ判断	



5 その他

- 2024年11月の総務委員会にて最終案報告予定